

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

令和元年12月20日

計画の名称	1 安全・安心な暮らしの実現に向けた水環境（下水道）の整備促進（防災・安全）																															
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度（5年間）	交付対象	今治市																													
計画の目標	年々増加していく老朽管に対し、安全性の確保、ライフサイクルコストの最小化を図り、計画的かつ効率的な対策を進める。 今後想定される大地震に備え、下水道施設の地震対策を進め、住民の生活・生命・財産を守る重要なライフラインとして信頼性の確保を図る。																															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・処理場及びポンプ場における長寿命化計画（H24～H30）に基づく長寿命化対策実施率を0%（H25当初）から66.7%（H29末）にする。 ・処理場及びポンプ場における耐震診断率を0%（H25当初）から46%（H29末）にする。 																															
定量的指標の定義及び算定式	$\text{長寿命化計画に基づく長寿命化対策を実施した割合（長寿命化対策実施率（％））} = \frac{\text{（長寿命化対策を実施した施設数）}}{\text{（長寿命化対策を実施する必要がある施設数）}} \times 100$ $\text{処理場及びポンプ場の耐震診断を実施した割合（耐震診断実施率（％））} = \frac{\text{（耐震診断を実施した施設数）}}{\text{（耐震診断を実施する必要がある施設数）}} \times 100$			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0%</td> <td>-</td> <td>66.7%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0%</td> <td>-</td> <td>46.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	0%	-	66.7%		0%	-	46.0%														
定量的指標の現況値及び目標値			備考																													
当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																														
0%	-	66.7%																														
0%	-	46.0%																														
<table border="1"> <tr> <td>全体事業費 上段計画, 下段実績</td> <td>合計 (A+B+C)</td> <td>3,070 百万円</td> <td>A</td> <td>3,070 百万円</td> <td>B</td> <td>0 百万円</td> <td>C</td> <td>0 百万円</td> <td>効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>2,633 百万円</td> <td></td> <td>2,633 百万円</td> <td></td> <td>0 百万円</td> <td></td> <td>0 百万円</td> <td></td> <td>0.0%</td> </tr> </table>	全体事業費 上段計画, 下段実績	合計 (A+B+C)	3,070 百万円	A	3,070 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%			2,633 百万円		2,633 百万円		0 百万円		0 百万円		0.0%										
全体事業費 上段計画, 下段実績	合計 (A+B+C)	3,070 百万円	A	3,070 百万円	B	0 百万円	C	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																						
		2,633 百万円		2,633 百万円		0 百万円		0 百万円		0.0%																						

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施体制		事後評価の実施時期		令和元年 月	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業											上段：計画 下段：実績						
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
A2-1-1	下水道	一般	今治市	直接	今治市	汚水・雨水	全種	下水道施設長寿命化対策事業	今治浄化センター外8施設, 長寿命化 今治浄化センター外8施設, 長寿命化	今治市						2,160 2,228	
A2-1-2	下水道	一般	今治市	直接	今治市	合流	改築	下水道管老朽化対策事業	管更生等 管更生等	今治市						110 61	
A2-2-1	下水道	一般	今治市	直接	今治市	汚水・雨水	全種	地震対策事業	下水道施設耐震診断等 下水道施設耐震診断等	今治市						330 297	
A2-3-1	下水道	一般	今治市	直接	今治市	雨水	新設	浸水対策下水道事業	第1雨水ポンプ場, 第2雨水ポンプ場 第1雨水ポンプ場, 第2雨水ポンプ場	今治市						170 47	
合計																3,070 2,633	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																0 0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全事業費 (百万円)	備考	
										H25	H26	H27	H28	H29			
合計																0 0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考				

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	長寿命化計画に基づく長寿命化対策を実施した割合は、達成率100%であった。 処理場およびポンプ場の耐震診断を実施した割合は、達成率150%であった。				
II 定量的指標の達成状況	長寿命化計画に基づく長寿命化対策を実施した割合	最終目標値	66.7%	目標値と実績値に差が出た要因	長寿命化計画どおり実施できた。
		最終実績値	66.7%		
	処理場及びポンプ場の耐震診断を実施した割合	最終目標値	46.0%	目標値と実績値に差が出た要因	発注にあたって施設ロットを検討し、効率的な発注に努めたため、進捗率を伸ばすことができた。
		最終実績値	69.2%		
	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項（今後の方針等）

<p>今後も安全、安心、快適な暮らしの実現及び良好な定住環境を創造のため、改築更新事業・地震対策事業は引き続き実施する。 リスクや部分最適化から全体最適化の概念を取り込んだマネジメントに移行する。 ハード対策とソフト対策の連携を図り、より効果が発現する取り組みを目指す。</p>

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 安全・安心な暮らしの実現に向けた水環境（下水道）の整備促進（防災・安全）		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）	交付対象	今治市

